

農業用水の施設 いちのいぜき 一ノ井堰

らくさい
～洛西土地改良区～



京都市嵯峨嵐山の観光名所である渡月橋の上流に位置する一ノ井堰は、昭和 27 年の府営事業によって高さ 1.8m、長さ 151.6m のコンクリート製重力式固定堰に改修されましたが、その歴史は長く、約 1,500 年前に農業用のかんがい用水を桂川右岸（右京区）に供給するために、渡来人の秦氏によって築られました。

一ノ井堰によって堰き止められた水は、川の中にある中ノ島（人工の島）によって、二分された支流へ流れていき、現在も農業用水として右京区・西京区・南区・伏見区の一部地域を潤し京野菜やお米を育む農業用水となっています。



一ノ井堰 記念碑



中ノ島によって二分された支流